

# みづゑ 第五

明治三十八年十一月三日發兌

## 色彩論

榕村主人

### (三) 顏料の説明

諸顏料の重なるものゝ概略の説明をする前に一言云ふて置かねばならぬ事がある。専門の畫家にはそれぞれ好みの繪具といふものがあつて、偏して居るが、初學者はかゝる偏頗なる使用顏料には目をくれず、繪具全體に意を注がねばならない。

パレットでも繪具箱でも繪具の配列は左から右へとの順序で、黄から初める、それは最も光の代表色であるから、橙、黄、赤、ラツセツト、佛手柑、中和色、終にインディゴである。

白は色彩として論ずべきものではないが、使用の廣いものであるから、こゝに説明することとする。

《ホアイト》酸化亞鉛或はチヤイニースホワイトと云ふて、水彩畫には必要の繪具である。これに暖色を混へて用ゆるときは、強き光を失ふた處を回復さす効がある、これを薄くするかまたは、他の明かな色彩と混へて用ゆるときは、空氣を描出することが出来る。此白色は些の鐵氣でもあると、硫化水素や其他遊離瓦斯に逢ふて變色する恐がある。

《オレンヂ》照りのある活々とした黄で、寧ろ蒼白に不透明であるが、不變色である。或は天空や遠景に淡く用ゐ、或は他の色彩の上へ一抹することがある。森の木葉に最も輝いた光を添ゆるのに、此の色を點ずることがある。

《ガンボーヂ》輝いた透明な黄で、緑を作るには必要な色である。インヂゴ、またはブレシアアンブリユーと混へて鮮な冷い色が得られる。パイントシーナ其他透明な橙黄色と混へると、豊富な變り易い秋の色を寫すに適當なものが得られる。ガンボーヂは植物性護膜質であるから、變色の憂があるが、上記の色を得るには最良の黄としてある。

《インヂアンエロー》ガンボーヂより肉のある深い色で、豊富な黄金色である。インヂゴ、ブレシアアンまたはフレンチブリユーと混じて深い強い緑が得られる。パイントシーナ、またはブラオンマダーと混じて、清い輝いた秋の色を寫すに適當な色が得られる。此色は最も強い力のある色であるから、應用するには大いに注意を要する。かゝる性質があるから、遠景よりは前景に多く使用する。

《エローオークル》中和色を作るもので、ブラオンマダーと混じて、暖い中和性の橙黄を得られる。これは或一定の色彩を施さないで、日光や暖さを見せることが出来るのである。

《ローシーナ》頗る透明で、寧ろ黄褐色の黄である。水の緑色を帯びたものを描くに好く、靜な湖水や海の波等に適する。エローオークルで描いた空の調子の反射を描くに用ゆる。クリムゾンレーキや赤を混じて、遠等の縁を造ることがある。この繪具は、紙上に斑紋（ちま）が出来たがる。

《パイントシーナ》豊富な橙黄の黄褐色で、甚だ透明で強い色である。道路や砂土手等の色に暖みと活氣を與へる。インヂゴ、ブレシアアンブリユーと透明な黄を混へると、美しい緑が得られる。

《カドミユーム》輝いた暖い橙黄に近い黄である。此色は不規則で常に同一でないが、インヂアンエローやクロームとは異つて居る。

《オレンヂクローム》輝いたエローオークルである。この特色は暖で透明にある。

《アースオレンヂ》輝いた豊富な橙黄の人工的の赭色である。パイントシーナ程は必要でない色で、その異なる點は輝いて明るい處にある。

《ライトレッド》茶褐橙黄色ともいふべきで、コバルトやフレンチオルトラマリンと混へて暖な鼠色が出る。雲の影等を描くに甚だ必要の色である。

《ヴェルミリオン》此色は輝いた不透明で重みのある色である。これを淡く塗るときは、天空に暖かみを含ませることが出来る。

《ローズマダー》マダー、レーキは近世甚だ行はるゝ色で、殊に不變色で色も鮮である。夕方の薔薇色を描くによく、僅のインヂゴを混ゆれば、夏の朝の紫や、東雲の莖色が得られる。

《クリムゾンレーキ》美しい透明な紅で、ローズマダーよりは力がある。コバルト又はフレンチブリユーと混じて美麗なる紫が得られる。前景の綠色に加へて、中和色とすることが出来る。また中景に適し、帶紫鼠色の葉を描くに適する。

《ヴェチシアンレッド》ライトレッドよりは深い純粹な色である。コバルトやフレンチブリユーと混じて、畫家の所謂鼠色(紫色)が得られる。

《インヂアンレッド》美しい帶紫褐色で、深いブリユーと混じて、種々な豊富な紫色が得られる。暴風雨の空や山の暗雲の影の下等を描くに好い。しかし程よくせないと、重くなつて、遠方や空氣を缺くやうになる。

《パープルマダー》純粹な輝いた紫ではないが、豊富で透明である。コバルトやフレンチブリユーと混じて深い紫を得られる。

《ブラオンマダー》豊富な褐色で水彩畫には缺くべからざる色である。橙黄と紫色の中間色で、エローオークルと混じて用ゆるときは、豊富な暖い色が出來て、他の色との調和を好くする。ガンボーヂやインヂアンレッドと種々な度で混じて、秋の森の色を得られる。

《ブラオンピンク》植物性の給具で、豊富な橙黄綠色で、前景の綠色を描く。

《ヴァンダイクブラオン》美麗な深い透明色で、前景の暖い豊富な鳶色の箇處に用ゆる。インヂゴやフレ

ンチブリユーと混じて深い中和緑色が得られる。水中の木の影を描によい。

《セビア》章魚の墨から製したもので、暗い蔭で好く運筆用として用られる。

《アイヴォレーブラツク》好黒色で、最中和の調子で、大いに透明である。これを淡くするとき、純粹な鼠色で天空や遠方を描くに必要である。

《インヂゴ》プレシアンブリユーやアントワープに比して輝いては居らぬが、力がある。透明で、前景の森の強い豊富な緑を造るに最必要である。また前景の緑色を造るに、セビア、インヂアンエローかまたブリユーブラツクとガンボーヂとを混じてもよい。

《フレンチブリユー》或は《フレンチオルトラマリ》力のある仕上のよい繪具で、眞正のオルトラマリに比して遜色なきものである。油繪に用ゐては安全ではないが、水彩には耐久である。

《コバルトブリユー》ブリユー中で此色が天空や遠方を描くに適して居る。寧ろ不透明で深さが無いが、遠方や雲の空氣には差支ない。(完)

\* \* \* \* \*